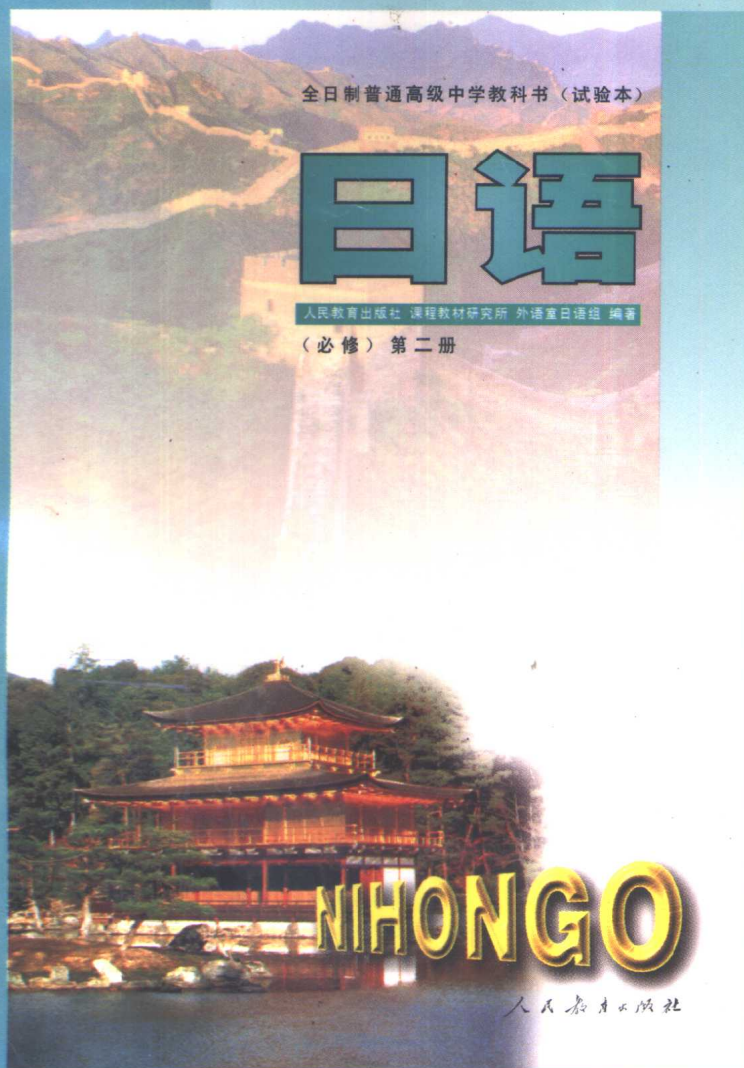


全日制普通高级中学日语（试验本·必修）

第二册

教师教学用书

人民教育出版社 课程教材研究所 外语室日语组 编著



人民教育出版社

全日制普通高级中学

日语（试验本·必修） 第二册

教师教学用书

人民教育出版社 课程教材研究所
外语室日语组 编著

人民教育出版社

(京)新登字 113 号

全日制普通高级中学
日语(试验本·必修)第二册

教师教学用书

人民教育出版社 课程教材研究所
外语室日语组 编著

*

人民教育出版社出版发行
(100009 北京沙滩后街 55 号)

全国新华书店经销
北京房山区印刷厂印装

*

开本 787 × 1092 1/16 印张 12.5 字数 28 000

1998 年 6 月第 1 版 1998 年 6 月第 1 次印刷

印数 1 - 900

ISBN7 - 107 - 12321 - 1

G · 5431(课) 定价: 9.00 元

如发现印、装质量问题,影响阅读,请与印刷厂联系调换

说 明

经国家教委批准，课程教材研究所接受日本国际交流基金的资助，并在日本国际文化交流中心的大力协助下组织中日双方编委会合作编写全日制普通高级中学日语教材。

参加高中日语第二册教科书编写的中日双方人员如下：

中方编委会成员：

委员长	魏国栋	课程教材研究所	所长
主任编委	唐 磊	课程教材研究所外语室副主任	副教授
编 委	赵华敏	北京大学东方学系日语教研室主任	副教授
编 委	翟东娜	北京师范大学外语系日语教研室副主任	副教授
编 委	林 洪	北京师范大学外语系日语教研室	副教授
编 委	张国强	课程教材研究所外语室日语组	副教授
编 委	张 敏	课程教材研究所外语室日语组	讲 师

日方编委会成员：

委员长	水谷 修	国立国语研究所	名誉所员
		名古屋外国语大学	教 授
顾 问	玉村 文郎	同志社大学文学部	教 授
顾 问	佐治 圭三	京都外国语大学外国语学部	教 授
顾 问	山田 泉	大阪大学留学生中心	教 授
主任编委	加纳 陆人	文教大学文学部	副 教 授
编 委	藤井 真三	日中学院日语科	主任讲师
编 委	青木 惣一	美国 加拿大大学联合日本研究中心	副 教 授
编辑助理	横山 朝子	日中学院日语科	专职讲师

日方事务局：国际文化交流中心

11-21/09

教师教学用书是根据教科书的内容、结构编写的配套教学用书。编写工作由中方独立完成。日方编委会对教师教学用书的编写提出过宝贵意见和建议，特此鸣谢。

本册教师教学用书供高中二年级全学年使用。

在编写过程中，中方编委会对全书的内容、结构和体例等进行了多次研究、讨论，并对初稿提出修改意见。具体执笔由林洪承担，附录中的参考译文由张敏执笔。

前 言

本书是高中日语教科书第2册的教学参考书。

面对各种各样教学法，面对不同的教学部门和教学对象，要编出具有相当普遍性的“指导方案”十分困难。故本书以“教学参考资料”的形式编写而成，力图尽可能多地提供一些教学中所需的解释、例句等。至于参考资料的具体运用，还要靠每位老师根据教学中的具体情况灵活处理。

《教师教学用书》围绕教科书的布局，每课大致由四部分构成：

一、教学重点

二、课文解说参考资料

三、会话解说参考资料

四、练习参考资料

另外，书后有附录，包括部分练习参考答案和课文、会话参考译文。

一、关于“教学重点”

教学重点是教科书根据教学大纲的要求对教师的教学要点所做的提示。一般每课均包括两个方面：

1. 主要语法项目。教科书的课文解说，均将教学重点排在第1项。
2. 主要日常交际用语项目。教科书的会话解说，按出现的先后顺序排列。

为明确起见，《教师教学用书》重现“教学重点”的这两个项目，便于老师把握。教师对教学重点的处理，可根据具体情况具体安排。宜精则精，宜简则简。

比如，第1课的助动词“ようだ”表示推测的用法就可以精讲多练，因为可供训练的词汇、语法知识、场景设计等比较丰富，同时还可以和第1册第1课中出现的表示比喻、例示的用法加以比较。而第7课的终助词“の”，不是一个灵活运用性较强的项目，可处理为语言知识的介绍，为以后相关项目的引入做铺垫。

像第5、6课的使役态，是日语教学中的一个难点，仅靠一、二篇课文不可能有效地解决问题。需要老师们逐步引导，为学生打好基础，在以后的各课中再不断阐释、不断演练。

二、关于“课文解说参考资料”

教科书中的解说，因受篇幅的限制不易展开，例句也有限。针对这一点，《教师教学用书》设立了“课文解说参考资料”，包括“词汇”和“语法”两部分，必要时增加“背景知识”。文字解释与例句提示并举，一般每一项解释附有3~5个例句，并提示了与第1册相关项目的联系。

1. “词汇”部分

教科书第2册的“课文解说”共110项(不包括“常用搭配”)。其中100项是对句式、表达方式的解释,而对词、词组的举例说明仅占七项。有鉴于此,《教师教学用书》中的“词汇”部分主要对名词、形容词、形容动词、动词、副词以及词组加以解释,计140项。

根据实际教学中经常遇到的问题,还用“注意”和“比较”的形式对下面几种情况作了说明:

中日近义词。如“翻译”和“翻訳”、“你”和“あなた”等。

日语近义词或反义词。如“尋ねる”和“聞く”、“いっそう”与“もつと”、“とうとう”和“やつと”、“苦手”和“得意”等。

比如,第13课用“比较”说明了“発見”“見つける”和“気がつく”的区别。

再比如,第10课用“注意”提示了“おかげで”等词的搭配问题。

自动词与他动词。如:“汚す”和“汚れる”、“増やす”和“減らす”等。对某些多义词动词,如:“出る”“かける”作了小结。

在解释词汇时,除去词性、基本词义以外,尽可能地说明其内涵所在。如第11课的“きちんと”与“ちゃんと”。

有些不易用文字说明的,我们尽可能地多提供一些例句,以便老师通过例句加以理解,进而更好地向学生阐释。

由于本书是以教师为使用对象的,例句是否完全适合课堂教学,以何种方式用于课堂教学,希望老师们在使用中斟酌。

2. “语法”部分

语法部分是对助词、助动词、句型、表达方式等加以补充说明。有的是对教科书中的解说加以补充,有的是补充教科书的解说中未收录的项目,共130项。

补充内容有以下几点:

(1)增加对内涵和语感的解释。比如第2课的“～ばいい”。

(2)增加句式、表达方式的立项。有些是在过去的相关书籍中较少列出的。目的在于多为学生提供用日语表述的“公式”,也有助于教师带领学生主动地归纳日语的各种表达方式。比如:

句尾的一些表达方式,像第3课的“～ように思う”,第5课的“疑问词～でしょうね”;句中的一些表达方式,像第6课的“～もしないで”,第8课的“～と比べると”等。

(3)注意讲解中日文在表达习惯上的不同。如第7课的“～のが普通です”就是其中一例。

(4)注意提示相似表达方式等的区别。如在第8课比较“疑问词～でしょう”与“疑问词～でしょうか”的用法、把第15课的“～につれて”与第8课的“～にしたがって～”加以比较等。

(5)注意与第1册的内容及课与课之间的呼应。如第7课的“それで”与第1册第20

课的“そこで”，以体现“螺旋式上升”的编写原则。

(6) 收录课文中结构较为复杂或较为难懂的句子。如第5课的“喜んでもらえる”。

(7) 适当予以小结。如第11课关于“～は～が～だ”的小结；第14课的举出一例暗示其他的表达方式。

3. 背景知识

这一部分对个别名词所涉及的相关知识作了简单的介绍，如第4课、第16课。还有一些介绍课文出处的内容，如第13课，及有关作家的介绍，如第3课。共计四项。

三、关于“会话解说参考资料”

这一部分对教科书中会话解说内容做了进一步的阐释，共90项。其中包括对解说内容的补充三十多项，对一些解说中未收录的各类词及表达方式等的解释约五十项。

“参考资料”注意了下述几个方面：

1. 进一步说明使用条件。如第2课的“いらっしゃいませ”。
2. 补充教科书会话解说中未收录的词汇、语法项目、表达习惯等。如第8课对日语“公園”的解释，第2课对“ネクタイがほしいですけど”的说明等。
3. 说明中日表达习惯上的不同。如第4课对“すみません”的解释。
4. 说明翻译上的注意事项。如第4课的“すぐに分かりますか”。
5. 对某些词句加以比较。如第12课的“喜びます”和第10课的“喜んだ”“喜んでいます”等。

会话教学是外语教学的组成部分。设置日常交际会话的目的，为的是提高学生用学过的语言知识进行日常交际的能力。也许有的老师看到教科书中的会话会不由地感到“这么容易，有什么可教可学的呢”。一位日本教师讲过的这样一件事：

一天，一个学生在路上见到他，喊了一声“先生(せんせい)”。于是，这位教师以为学生有事，便准备听他讲什么。不料学生没再说什么就走过去了。

对此，“会话解说参考资料”这样解释：

我们中国人习惯通过称呼对方来打招呼。如“王老师”“周明”。而日本人不同。因而不要说成“王先生，おはようございます”“周さん，おはよう”。因为日语里是在有事时才称呼对方。使用“こんにちは”“こんばんは”也要注意这一点。

这位日本老师的误会正是源于日语打招呼的习惯与汉语不同，而我们学生的错误是由于用汉语的习惯套用日语所致。这类语法上没有错误而实际交际上有问题的情况说明，日常生活交际有其特殊性。同样一个词，一个表达方式，在不同的交际环境中会有不同的交际功能。注意到了语言的这种交际特性，便可使我们的语言教学“活”一些，更有益于实际应用。对于用外语交际的人来说，仅仅有语言材料、知道怎么说还远远不够。因为要想使交际得体，还必须懂得相关的风俗习惯、语言习惯和语言内涵等。“会话解说参考资料”正是基于这些因素而编写的。

当然，用外语交际，没有一定的语言基础则难以有效地、有系统地学习与掌握。正是基于这一考虑，日常生活交际用语设计得相对独立一些、简单一些。然而，如果因为看上去

简单就不重视这些交际功能的理解和运用,“先生(せんせい),おはようございます”一类交际错误仍然还会发生。

四、关于“练习参考资料”

“练习参考资料”主要为提问例句。这是为教师讲授课文而设置的。与第1册略有不同的是提问例句分两部分。第一部分是与课文内容相关的某些话题。教师可用作进入课文的前导,亦可用作课文学完之后的自由问答练习。第二部分是就课文本身的提问。这些提问,既可以用于进入课文之前检查学生预习的情况,也可作为课文讲解过程中检验学生理解与否的依据,还可以用于讲解之后就课文内容做对话练习。回答“なぜ”“どうして”的提问的同时,要注意培养学生使用“～からです”等表示原因的表达方式的习惯。

五、关于“附录”

《教师教学用书》的附录部分收录了部分练习参考答案和课文、会话参考译文。练习中的书面替换练习、汉字及读音的练习等没有提供答案。提供答案的内容主要有:

1. 课文练习

- (1) 听磁带做替换练习的文字材料
- (2) 助词填空
- (3) 完成句子
- (4) 回答问题
- (5) 写作练习
- (6) 翻译练习

有些“助词填空”的答案不是唯一的,这种情况下会给出两种答案。“完成句子”“翻译练习”的答案仅供参考,学生的答案可能会是各种各样的,需要教师灵活处理。另外,翻译练习的参考答案对敬、简体未作严格要求。因此,学生用何种文体翻译可不作统一规定,但一句话中的文体应该统一。

回答问题和写作练习是本册课本新增内容,旨在增强学生综合能力。

2. 会话练习

- (1) 完成会话;
- (2) “角色扮演练习”的示范对话。

示范对话也只是供教师组织练习时参考,不是唯一答案。

课文和会话的参考译文,尽量按照原文的语序译出,当按原文语序译出时严重影响汉语的表达习惯时,则不拘泥于原文。翻译的方法同样不是唯一的,因此只要不损害原意、不影响汉语的表达习惯,教师们还可以引导学生找出更好的译法。

以上就本册《教师教学用书》所提供的“参考资料”做了一些说明,希望能有助于老师们的教学,更期待老师们给予指正。

目 录

第一单元

第 1 课	(1)
第 2 课	(10)
第 3 课	(20)
第 4 课	(28)

第二单元

第 5 课	(38)
第 6 课	(47)
第 7 课	(54)
第 8 课	(64)

第三单元

第 9 课	(71)
第 10 课	(78)
第 11 课	(85)
第 12 课	(93)

第四单元

第 13 课	(100)
第 14 课	(108)
第 15 课	(114)
第 16 课	(120)

附录

部分练习参考答案	(127)
课文·会话参考译文	(169)

第1课

教学重点

1. 助动词“ようだ”表示推测的用法。
2. 外出和归来时的寒暄语。

课文解说参考资料

一、词汇

1. 見物

名词兼サ变动词。指参观名胜古迹，观看文体、庆典活动等。

- ・毎日天安門広場を見物に来る人がおおぜいいます。
- ・秋になると、修学旅行の生徒たちが観光地を見物する姿をよく見かけます。
- ・A: みなさんはあしたどうするつもりですか。
B: そうですね。買い物をする人もいますし、見物に行く人もいます。
- ・A: そうですね。自由時間ですね。
B: そうです。

“見物”有时可与表示参观地点或内容的名词直接连接构成复合词。

- ・母を連れて、一日北京見物をしてまわりました。
- ・お父さんといっしょの芝居（しばい）見物は何年ぶりでしょう。

2. おばさん

名词。在本课意思相当于汉语的“阿姨”，但是内涵和使用方法不同。

比较：正如课文中指出的，汉语中的“阿姨”带有尊重之意。即使是年轻女子被称为“阿姨”，大多不会感到不快，有的还会很高兴，觉得自己可以当长辈了。

日语中的“おばさん”可以用来称呼自己的姑妈、姨妈、伯母、婶婶、舅妈等。儿童可以用来称呼与自己母亲年龄相仿的女性。除上述特定对象之外，“おばさん”多含“不年轻了”甚至是“没有用了”等贬义。常含有讽刺、挖苦的意思。为避免产生误会，可用“あう”“すみません”等向对方打招呼。

教师参考用书第1册第3课的词汇解说中谈到过，汉语习惯通过称呼对方来打招呼，如“阿姨”“老师”等。而日语大多是在有事时叫对方。因此叫“おばさん”并不等于向对方打招呼。

3. あなた

代词。相当于汉语的“你”，但是使用方法不同。

比较：汉语中的“你”，除北方一部分地区以外，一般没有辈分之分。但日语中的“あなた”，一般多为上对下使用，或是妻子对丈夫使用。双方交谈中，一般不必反复使用“わたし”“あなた”。不说明主语的陈述，多指“わたし”；不说明主语的提问，多是对“あなた”而言。如：

A: あの、今、ちょっといいですか。（嗯，你现在有时间吗？）

B: はい。何か……。 （有啊。你有什么事？）

A: 実は日本語で手紙を書いたんですが……。 （是这样，我用日语写了一封信……。）

在交谈中，需要提到“你”时，往往用“〇〇さん”来表明。如下面一段电话对话：

三上: はい、三上です。（你好，三上家。）

周 : 周と申しますが、健一さんはいらっしゃいますか。（我姓周，请问健一在家吗？）

三上: あ、周明さん、ぼくです。お元気ですか。（哦，周明啊，是我。你好吗？）

周 : はい、おかげさまで。三上さんは？（挺好的，托你的福了，你好吗？）

三上: ええ、元気です。（嗯，挺好的。）

4. 気づく

五段自动词。表示（在某种契机的前提下）意识到某种情况。对所意识到的事项用助词“に”表示。

- ・王さんは危険に気づいた。（小王意识到了危险。）
- ・李さんは自分が危険なのに気づいていた。（小李意识到自己处于危险的境地。）
- ・劉さんはわたしがいるのに気づきませんでした。
- ・わたしは切符を買いに行った時財布がないのに気づいた。
- ・張さんはわたしに気づかずにそばを通り過ぎた。

比较：気がつく

惯用词组。第1册第8、13课出现过。和动词“気づく”词义相当，口语性较强。

- ・李さんは窓ガラス（窗户玻璃）の文字（もじ）に気がつきました。

・白 : あら、小川さん。

小川: あっ、白雲さん。いたの。

白 : いたわよ。

小川: いつから。

白 : さっきからずっと。

小川: そうか。全然気がつかなかった。

5. 受け取る

五段他动词。用手将递(送)过来的东西接过来并收下。

- ・手紙はもう受け取りましたか。
- ・わたしは李さんが部屋に置いていた荷物を受け取りました。
- ・王さんはその金を受け取りましたが、自分の物にはしませんでした。
- ・わたしは李さんがわざわざ持ってきてくれたお菓子を受け取りました。
- ・もし、よかったら、これをあげるよと言われて、喜んで受け取りました。

比较：“受ける”是一段他动词，多指接受抽象性的事物。

- ・李さんはすばらしい教育を受けました。
- ・新学期が始まったら、健康診断を受けることになっています。
- ・きのう、友達から勉強のことについて、相談を受けました。
- ・いろいろ考えて、やはり大学の入学試験を受けようと思います。

6. 当たる

五段自动词。词义较多。在本课意同汉语的“相当于……”，前接助词“に”。

- ・中国語には「畳」に当たる言葉はないようです。
- ・1畳はだいたい1.6平方メートルに当たります。
- ・日本のお正月は中国の「春節」に当たります。
- ・あの人はわたしのいところに当たります。
- ・今月の13日は金曜日に当たります。

7. まったく

副词。用于全盘性地肯定或否定。相当于汉语的“完全”“百分之百地”。多见于正式的发言或正式的文章。

- ・わたしの意見は、李さんとまったく同じです。
- ・わたしはそれがどんなものかまったく分かりません。
- ・もらった地図は古くて、まったく役に立ちませんでした。
- ・二、三日の間、まったく人に会いませんでした。
- ・まったく王さんが言ったとおりです。勉強は学生にとって一番大切なことです。

8. それほど

副词。在本课后接否定的表达方式，表示尚未达到某种程度，意为“并不……”。

- ・今日はそれほど寒くありません。
- ・それはそれほど大きい建物ではありません。
- ・みんなはおいしい、おいしいと言っていましたが、食べてみたら、それほどおい

しくないと思いました。

- ・最初は難しいかなあと心配していましたが、実際にやってみたら、それほど難しくなかったです。
- ・写真で見ると、かなり広い部屋のような気がしますが、本当に入ってみると、それほど広くありません。

9. そのまま

副词。后接动词时，表示完全按照原有的状态做某事。

- ・言われたことをそのままやりました。
- ・皆さんの意見をそのまま先生に伝えます。
- ・考えたことをそのまま日記に書きました。
- ・外国のことをそのまままねをするのはよくないと思います。
- ・ふるさとで見たり聞いたりしたことをそのままみなさんに話してください。

10. 翻訳

名词兼サ变动词。意为“翻译”。“翻訳”只有“笔译”的意思，不包括“口译”。

- ・あの人は翻訳が上手です。
- ・その小説は翻訳で読みました。
- ・この翻訳は分かりやすいです。
- ・「畳」はうまく中国語に翻訳できません。
- ・鲁迅の小説は外国語にたくさん翻訳されました。
- ・日本語の「翻訳」は中国語の「笔译」に当たります。

11. 感じを持つ

常用搭配。表示有某种感觉，不受人称的限制。

- ・あなたは北京に対して、どんな感じを持っていますか。
- ・水谷先生の授業に対して、とてもいい感じを持っています。
- ・教室は明るいので、最初、学生はとても広いような感じを持っていました。

比较：“感じがする”是惯用词组。表示(第一人称)产生某种感觉。

- ・ちょっと寒い感じがします。
- ・この言い方はどこかおかしい感じがします。
- ・この文章を読んで、どんな感じがしますか。
- ・看護婦さんの服を白からピンクにしたのは暖かい感じがするからです。
- ・ゆうべ遅くまで隣の部屋でだれかが歌を歌っているような感じがしていました。
- ・李さんはぼくより背が高いような感じがしましたが、比べてみたら、ぼくのほう

が少し高くて、びっくりしました。

12. 言葉づかい

名词。意为“遣词造句”。主要指遣词造句的正误，巧拙等。

- ・人の性格は言葉づかいでよく分かります。
- ・丁さんはいつも上品（じょうひん）な言葉づかいをしています。
- ・もう高校生ですから、言葉づかいに気をつけなければなりませんね。
- ・あの人は時々汚い言葉づかいをして、よく親にしかられます。
- ・みんな友達ですから、それほど言葉づかいを気にしなくてもいいです。

13. しっかり

副词兼サ变动词。词义较多。原意为“牢固地”。第1册第13课出现过表示“紧紧地”的用法。在本课可理解为“充分地”，即将应做的部分足量地做出来。

- ・この橋はしっかりしています。（这座桥很结实。）
- ・小説を読まないで、しっかり食べなさい。（别看小说了，好好吃。）
言外之意是“要吃饱”。
- ・テレビを見ないで、しっかり勉強しなさい。（别看电视了，好好学习。）
言外之意是“要学够量”。
- ・あの子はしっかりした少年です。（他是个可以信赖的孩子。）

二、语法

1. 高校生だったようです

比况助动词“ようだ”在本课表示推测。根据客观事实，经过思考的慎重推断，推断的把握性较大。此时的客观事实可以通过自己的观察、也可以是通过传闻得到的，而通过自己观察的比例较大。推断的对象可以是别人的也可以是自己的，还可以表示判断，但语气和缓、含蓄。

- ・約束の時間になってもだれも来ません。どうも場所か時間を間違えたようです。
- ・A: 王さんはもう来ていますか。
B: いいえ、まだ来ていないようです。
- ・A: 顔色がよくないようですね。どうかしたんですか。
B: ちょっと熱があるようです。
A: それはいけませんね。
- ・A: どこかで会ったようですね。
B: そうですね。第一高校の周さんですね。

在第1册第1课接触过表示「示例」和「比喻」的用法。

比较：样态助动词“そうだ”也表示推测。与“ようだ”相比，“そうだ”更侧重感官的客观性。即根据眼前的情况，预计即将产生消极的、危险的情况。另外，还可以表示从外观上去的客观状态是不经思考，尚未或无法直接体验的直接感觉。在表示这种直观性感觉上，两者不宜互换。

- ・張さんは嬉しそうに笑っています。
- ・危ないですよ。糸が切れそうです。
- ・李さんは体が丈夫そうに見えますね。
- ・遅れそうになった時、電話を掛けたほうがいいです。
- ・あの人は気持ちよさそうに歌を歌っています。
- ・見た目にはおいしそうですが、食べてみると、それほどおいしくありません。

以上各例不宜用“ようだ”替换。

- ・わたしの考えでは、行かないほうがいいような気がします。
- ・もう時間になったようですから、今日はこれで終わりにしましょう。

以上各例不宜用“そうだ”替换。

2. バスの所まで戻ろうとした時

“～（よ）うとする”为惯用表达方式。表示准备要做某事的意志等。不受人称限制。

- ・あのことは、忘れようとしても、なかなか忘れることができません。
- ・みんながもうそろそろ帰ろうとしていますが、李さんだけが帰ろうとしません。
- ・銀座（ぎんざ）で地下鉄を降りようとしたが、乗ってくる人が多くて、降りられませんでした。
- ・山田さんはここへ来ようとして、慌てて転んでしまいました。
- ・大竹さんは勉強しようとして、教科書を探しています。
- ・A: お待たせしまして、すみません。
- B: どうして遅れたんですか。

A: 出ようとしていた時に、友達から電話が来ましてね……。

比较：“～（よ）うと思う”，用来表示第一人称的意志、打算。

- ・あしたも行こうと思います。
- ・新しいクラス新聞を作ろうと思っていました。
- ・ぼくも行きたいと思いますが、時間がないので、残念です。
- ・李静：周明さんもやろうと思いますか。
- 周明：ええ、ぼくもやろうと思います。

3. 見えないと思っているからです

这句中的“思っている”表示的不是正在想，而是一直认为。

- ・わたしはベートーベンのような作曲家になりたいと思っています。そして、一つでも人の心に残る曲を作ることができたらと思っています。
- ・A: 大学に行くつもりですか。
- B: はい。ぜひ行きたいと思っています。
- A: どこを受けようと思っていますか。
- B: 北京師範（しはん）大学を受けるつもりです。

4. 意味が含まれている

“含まれている”は动词“含む”的被动存续表现形式，意为“包含着”。

- ・委員会のメンバーには女性が3人含まれています。
- ・勉強という言葉にはどんな意味が含まれていますか。
- ・この値段（ねだん）にはサービス料（服务费）が含まれています。
- ・この酒には15パーセントのアルコール（酒精）が含まれています。

5. しようと思ってはいないでしょう

提示助词“は”插在“～ていない”中间，以加强否定的语气。表示“根本就没……”的意思。

- ・そんなこと、考えてはいませんよ。
- ・そんな変なこと、してはいません。
- ・遊びに行こうと思っ

会话解说参考资料

1. ちょっとお聞きしたいんですが

“ちょっと”为副词，意为“略微”，表示尽可能减少给对方造成不便的含义。“お聞きする”是“聞く”的自谦说法。高中第1册第4课的“おじゃまします”、第8课的“お願いします”均属这种用法。可参照第1册教师教学用书第8课中的“会话解说参考资料”。

2. それに対して

“～に対して”是惯用表达方式。“に”前面接名词或相当于名词的成分；在本课用于比较，意为“与……相对应”。“それ”指小川上句提到的“行ってきます”。

- ・上海では雨が多いのに対して、北京では雨が少ないです。
- ・この大学の留学生は日本人が100名に対して、欧米から来た学生が50名います。
- ・数学を勉強する学生は男性のほうが多いです。それに対して、英語を勉強する学生は女性のほうが多いです。

比较：第1册第6课出现的“～に対して”表示的是行为动作的对象。

- ・母親が子供に対して使う言葉で、もっとも多いものは「早くしなさい」だそうだ。
- ・先生に対して、「おはよう」と言うのではなく、「おはようございます」と言うのです。

3. ただいま／お帰りなさい

“ただいま”是外出的人回家时的寒暄语，因此在单位一般不使用。而“お帰りなさい”是对外出的人归来时使用的寒暄语，在家在单位均可使用。

4. ～というのが一般的な言い方です

汉语常说“一般……”，日语则有“～（の）が一般的（な～）です”的表达习惯。语序与汉语不同。

- ・中国の高校では英語を勉強するのが一般的です。
- ・日本の高校では授業は8時50分から始まるのが一般的です。
- ・日本では午後3時ごろおやつを食べるのが一般的です。

5. よくしかられます

“しかる”为五段他动词。意为“提醒”“批评”。“よくしかられます”意为“经常挨说”。

- ・父はラジオを壊した弟をしかったです。
- ・李さんは授業に遅れてしかったです。
- ・先生は乱暴（らんぼう）な言葉づかいをした生徒を厳しくしかったです。
- ・宿題を忘れて、先生にしかったです。
- ・子供のころいつもテレビを見ながら勉強していたので、よく母にしかったです。

6. ちょっと練習してみませんか

补助动词“みる”表示尝试着做某事。

- ・これ、おいしいですよ。食べてみませんか。
- ・何回もやってみましたが、やっぱり無理です。
- ・だめだという前に、先にやってみることですよ。

练习参考资料

提问一

1. あなたは普通、どんな女性に「阿姨」と呼びますか。
2. どんな人に「你」という言葉を使うと、失礼だと思いますか。